

# 平成30年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2	学年・学科	2学年・D科(選択)
教科書	農文協「生物活用」		副教材				

学習目標	園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得させ、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解させるとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を育てます。
学習方法	精神・身体・社会・教育的効用を期待して実際に園芸作物の栽培や、社会動物とのふれあいを行います。そこから心の豊かさや満足度について考えながら知識として身につけます。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	園芸作物の栽培や社会動物とのふれあいを通じ園芸作物や社会動物の役割、活用方法など生物を活用する活動の現状や今日的な課題などに興味関心が持てる	前期中間	25 %	10	15
			前期末	25 %	10	15
			後期中間	20 %	10	10
			後期末	20 %	10	10
	b 思考・判断	園芸作物の栽培・利用、社会動物との触れ合いや飼育が、やすらぎや意欲の向上、精神や身体の機能改善などの効用をもたらすことを理解できる	前期中間	20 %	10	10
			前期末	20 %	10	10
			後期中間	25 %	15	10
			後期末	30 %	15	15
	c 技能	園芸作物の栽培・利用、社会動物との触れ合いや飼育について基本的な技術を身につけ、それらがもたらす効用について効用を得られるための計画が立案できる	前期中間	30 %	10	20
			前期末	30 %	10	20
			後期中間	30 %	10	20
			後期末	25 %	10	15
d 知識・理解	園芸作物の栽培や社会動物とのふれあいを通じ園芸作物や社会動物の役割、活用方法など生物を活用する活動の現状や今日的な課題などが理解できる	前期中間	25 %	15	10	
		前期末	25 %	15	10	
		後期中間	25 %	15	10	
		後期末	25 %	15	10	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	生物活用の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物、社会動物と人間生活の関わりについて学びます。</li> <li>生物活用と対人サービスについて学びます。</li> </ul>	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:園芸作物、社会動物と人間生活の関わりについて興味関心を持ち生物活用の役割を考えることができる。</li> <li>b:園芸活動や動物との交流が生活を豊かにしたり精神や身体の健康回復を助けることを理解できる。</li> <li>c:園芸作物や社会動物などの資料や情報を活用できる。</li> <li>d:園芸作物や社会動物の特性及び園芸や動物の触れ合い・飼育などがもたらす精神的・身体的・社会的な効用を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ノート</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> <li>実習レポート</li> <li>授業態度</li> </ul>
	園芸作物の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸作物の種類と特性について学びます。</li> <li>植物の繁殖方法について学びます。</li> </ul>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:園芸作物について興味・関心を持ち、栽培方法や特性について探求しようとしている。</li> <li>b:園芸作物の繁殖方法についてその植物にふさわしい繁殖方法を検討し実践できる。</li> <li>c:園芸作物の繁殖方法について適切に行うことができる。</li> <li>d:園芸作物の種類や特性及び繁殖方法が理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作物管理状況</li> <li>定期考査</li> </ul>

前期末	園芸作物の栽培と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>草花、野菜、ハーブの栽培と活用について学びます。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:栽培している草花や野菜、ハーブについてその特性に興味関心がある。</li> <li>b:栽培している草花や野菜、ハーブについて正しく栽培管理ができる。</li> <li>c:栽培方法や管理について、その特性を考え実践でき、ベジタブルガーデンに活用できる。</li> <li>d:草花・野菜・ハーブの活用、加工に関する知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ノート</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> <li>実習レポート</li> <li>授業態度</li> <li>作物管理状況</li> <li>定期考査</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ベジタブルガーデンとその活用について学びます。</li> </ul>	○		○		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>草花、野菜、ハーブの活用と加工について学びます。</li> </ul>	○		○		

後期中間	社会動物の飼育と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会動物の飼育としつけについて学びます。(ウマ、各種小動物)</li> <li>社会動物の活用について学びます。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:社会動物の習性や行動特性、教育や健康に関する効果に興味関心がある。</li> <li>b:社会動物の適切な飼育方法を学び適切な飼育環境を考えることができる。</li> <li>c:社会動物の飼育や飼料の給与、しつけの方法を学び実践できる。</li> <li>d:社会動物の習性や行動特性を理解させ飼育やしつけに関する知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ノート</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> <li>実習レポート</li> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> </ul>
------	------------	--	---	---	---	--	---

後期末	生物を活用した療法・活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>園芸療法について学びます。</li> <li>動物介在療法について学びます。</li> <li>交流活動について学びます。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>a:生物を活用した交流活動、園芸や動物の療法的活用について興味関心がある。</li> <li>b:生物を活用した交流活動について対象者や内容、方法などについて検討することができる。</li> <li>c:生物を活用した交流活動について交流計画を立案することができる。</li> <li>d:生物を活用した療法についてその内容や方法について知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ノート</li> <li>授業プリント</li> <li>小テスト</li> <li>実習レポート</li> <li>授業態度</li> <li>定期考査</li> </ul>
-----	--------------	---	---	---	---	---	---